

# 第9期

## SIF-Japan定例理事会・定例総会

平成24年3月16日開催

(内容書類一覧)

理事会・総会 議事次第

第8期 事業報告・収支決算

第9期 事業計画案・収支予算案

役員選出資料

運営委員候補一覧

特定非営利活動法人

社会的責任投資フォーラム(SIF-Japan)

## 第8期 事業報告・収支決算

自 平成 23 年 1 月 1 日

至 平成 23 年 12 月 31 日

事 業 報 告 書

財 産 目 録

賃 借 対 照 表

収 支 計 算 書

収支実績予算対照表

特定非営利活動法人

社会的責任投資フォーラム

## 平成 23 年度 事業報告書

平成 23 年 1 月 1 日から 23 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム  
(SIF-Japan)

当フォーラム（以下 SIF-Japan という）の事業は、会員による年会費や協賛等の様々な形のご支援、役員、運営委員による無償の活動によって実施され、以下の成果を挙げることができた。

### 1. 会員動向

23 年度の会員在籍数と入退会、役員、運営委員在籍数は以下の通りである。

経済情勢が依然厳しい中ではあるが、法人会員 1 社増、個人会員は退会者 19 名のうち、2 年以上の会費滞納による退会処分者(定款第 8 条 2 項(3)による)が 7 名、全体で 7 名減。

< 会員 > （在籍者ベース：期首の数字は、2 年以上会費未納者を含む）

種 別	期 首	入 会	退 会	期 末
金融機関 ( )	8	0	0	8
金融機関 ( )	0	0	0	0
金融機関 ( )	2	0	0	2
金融機関 ( )	0	0	0	0
一般企業	4	0	1 *1	3
公的・中間機関	6	1 *2	0	7
NPO/NGO	3	0	0	3
個 人	99	12	19	92
(内、学生)	(9)	(1)	(1)	(9)
<b>合 計</b>	<b>122</b>	<b>13</b>	<b>20</b>	<b>115</b>

\*1 (株)YAMATO 退会

\*2 独立行政法人国際協力機構入会

金融機関 ( )...金融ホールディングカンパニー及び、以下 ( ) ~ ( ) 以外

金融機関 ( )...地方銀行

金融機関 ( )...投資信託委託・投資顧問・投資会社・信用金庫単独

金融機関 ( )...信用組合

< 法人・団体会員内訳 > \* 期末在籍、入会順

#### 【プレミアム法人会員】

- ・ 株式会社クレアン
- ・ 株式会社セブン & アイ・ホールディングス
- ・ 株式会社大和証券グループ本社
- ・ 住友信託銀行株式会社
- ・ 株式会社インテグレックス
- ・ 株式会社三井住友銀行
- ・ 日興アセットマネジメント株式会社
- ・ ニッセイアセットマネジメント株式会社

## 【一般法人会員】

- ・ 株式会社日本政策投資銀行
- ・ 東京海上日動火災保険株式会社
- ・ NPO 法人エティック
- ・ KPMG あずさサステナビリティ株式会社
- ・ 一般社団法人自然エネルギー市民基金
- ・ 株式会社損害保険ジャパン
- ・ 株式会社あらたサステナビリティ認証機構
- ・ Carbon Disclosure Project
- ・ 有限責任監査法人トーマツ
- ・ FTSE Group
- ・ 一般財団法人日本経済研究所
- ・ 社団法人投資信託協会
- ・ ブルームバーグ・エル・ピー
- ・ CSR デザイン環境投資顧問株式会社
- ・ 独立行政法人国際協力機構

## 2. 平成 23 年度事業報告

事業展開については事業計画に沿って活動を実施し以下の実績を挙げることが出来た。

初開催の「レポートコンテスト」では、共催の株式会社きんざい様および会員企業初め、全 5 社より計 40 万円の協賛を得られた。その他イベント開催については、特に震災の影響により、予約の会場が使用不可となったが、理事の伝で会場提供をしていただくなど、多くのご好意・ご協力を得られた。

平成 24 年度に発行の「日本 SRI 年報 2011」の準備も進めた。

## (1) 勉強会

多方面に亘るテーマで 4 回開催。

開催会場については今年度も法人会員の住友信託銀行様より無償提供いただいた他、国際協力機構様にも格安でお借りすることができ、いずれも駅直結の交通の便に恵まれた。

開催日、テーマ、講演者、参加者数、収支概算は、別紙「平成 23 年度勉強会・セミナー開催一覧」の通り。

事業収入 97 千円（参加費）      事業支出 69 千円（講演謝礼、消耗品等）  
参加者 延べ 116 名

## (2) 金融機関ダイアログ

SRI を推進する金融機関(法人会員対象)およびアナリスト(個人会員)を対象としたクローズドな会を金融機関ダイアログの形で立ち上げ、3 回実施。会場については法人会員の(株)大和証券グループ本社様、(株)インテグレックス様のご好意で無償提供していただいた。

開催日、テーマ、講演者、参加者数、収支概算は、別紙「平成 23 年度勉強会・セミナー開催一覧」の通り。

事業収入 10 千円（参加費）      事業支出 57 千円（講演謝礼、消耗品等）  
参加者 延べ 74 名

## (3) 早稲田大学大学院ファイナンス研究科への講師推薦協力

同学科において見識ある金融人を育成する目的で職業倫理と社会的責任を真正面から取り扱った授業科目として「CSR/SRI 関連」が検討され、その講師派遣について SIF-Japan に協力要請があったものである。SIF-Japan としては事業活動の趣旨にも合致するので毎年対応し、今回で3回目となる。講師は運営委員・会員が務めた。講義概要と講師一覧は、別紙「平成23年度勉強会・セミナー開催一覧」の通り。

事業収入 0円 事業支出 0円

## (4) レポートコンテスト

SRI 市場に関する研究活動を促進、成果を情報発信する目的で、株式会社きんざい様との共催「SRI レポートコンテスト」を実施。

開催にあたっては、以下の各社様より多大の協賛を得、厚くお礼申し上げます(以下敬称略)。

- ・共催・特別協賛：(株)きんざい
- ・特別協賛：(株)大和証券グループ本社；(株)セブン&アイ・ホールディングス
- ・一般協賛：KPMG あずさサステナビリティ(株)；公益財団法人トラスト 60

審査員(敬称略)：首藤 恵(早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授)

金井 司(住友信託銀行(株)企画部 CSR 担当部長)

水口 剛(高崎経済大学経済学部教授:SIF-Japan 共同代表理事)

河口 真理子(株)大和証券グループ本社 CSR 担当部長；  
SIF-Japan 共同代表理事;事務局長)

結果：最優秀賞 該当者なし

優秀賞 波多野 綾子「NPO バンクの活用に向けた法整備の必要性について」

副賞：平成 24 年春刊行予定の「日本 SRI 年報 2011」に受賞作品全文掲載

平成 24 年春開催予定の年報お披露目シンポジウム時にプレゼンテーション

事業収入 400 千円

事業支出 0円 (年報制作費及びシンポジウム開催費として平成 24 年度に計上)

## (5) ホームページ運営

SRI に関する各種情報の提供として、公募 SRI 純資産残高ならびに、昨年より開始した大和証券(株)様のデータ協力を得た社会貢献型債券の一覧をまとめて「最新 SRI 市場残高」とし、3, 6, 9, 12 月末時点の更新を発表、引き続き多くの企業・団体から引用依頼が多く、活用いただいている。さらにツイッターを開始し、ホームページとの連動、アクセス数の増加に一役買っている。

特に 6 月に発表した「原子力/原子力発電事業をいかに考えるか；SRI の立場からの論点整理」については、アクセス数が激増、朝日新聞他マスコミの反響も大きかった。

事業収入 5 千円 事業支出 47 千円

## (6) メールマガジン

法人会員の FTSE Group のご好意で、ヨーロッパの経済ビジネス情報サイト「NNA ヨーロッパ」に掲載された記事「なぜ今、責任投資なのか」を会員限定希望者に配信サービス。欧州の責任投資の最新動向を伝える内容で、22 年 4 月より開始、全 12 回で、23 年 4 月終了した。

事業収入 0円 事業支出 0円

配信数 期末現在 1252 通 (前年比+19)

( 7 ) S R I 年報 ( 2 0 1 1 年 版 ) の 作 成

SIF-Japan の 会 員 お よ び そ れ ぞ れ の 分 野 で の 第 一 人 者 の 有 志 の 方 々 に よ る 年 報 委 員 会 を 立 ち 上 げ、日 本 語 版 は 2 4 年 1 月 末、英 語 版 は 4 月 発 行 の 予 定 で 鋭 意 制 作 中。

な お 発 行 に 当 た っ て は 以 下 の 各 社 様 よ り 多 大 の 協 賛 を 得、厚 く お 礼 申 し 上 げ る (以 下、敬 称 略)。

- ・ 翻 訳 無 償 協 力: (株)エ ッ ジ・イ ン ター ナ シ ョ ナ ル
- ・ 一 般 協 賛: (株)日 本 政 策 投 資 銀 行 (日 本 語 版)、(株)損 害 保 険 ジ ャ パ ン (英 語 版)
- ・ 情 報 提 供・一 般 協 賛: FTSE Group

他、レポ ー ト コ ン テ ス ト 協 賛 社

事 業 収 入 1 0 0 千 円 (注) S R I 普 及・啓 発 活 動 収 入 と し て 2 3 年 度 入 金 分 の み 計 上

事 業 支 出 0 円 (印 刷 費 等、平 成 2 4 年 度 に 計 上)

( 8 ) シ ン ポ ジ ウ ム の 開 催

平 成 2 4 年 度 に 年 報 の 発 行 に 合 わ せ て 開 催 し ま す。

以 上

平成23年度 勉強会・セミナー開催一覧

(単位:千円)

回	開催日	テーマ	講師、登壇者	会場	参加人数	会/非会	収入	支出
<b>定例勉強会</b>								
37	H23.1.27	<b>SRIの進化型「サステナビリティ」に基づくマルチテーマ型運用</b> 概要: テーマ型と通常のポジティブ・ファンドの双方の利点をインテグレートした運用手法を実践しているハンダーソン・グローバル・インバスターズ社のSRI運用の実践についてお話を伺った。	多次 貴志氏 (ハンダーソン・グローバル・インバスターズ(株)代表取締役) コメンテーター: 金井 司氏 (住友信託銀行(株)企画部CSR担当部長 社会活動統括室長)	住友信託銀行 会議室	42	27/15 (人)	28	24
38	H23.4.21	<b>SRI事情 入門編`11</b> 概要: 定番化した毎年恒例の人気講座。今回は対象者を入門に絞らず、中級者に向けてもSRIの今後や、そのあるべき姿などについて議論する場になった。	水口 剛氏 (高崎経済大学教授; SIF-Japan共同代表理事)	NPO法人アイ・エス・エル 会議室	23	9/14	26	17
39	H23.8.30	<b>大和マイクロファイナンスが開く社会貢献投資の可能性</b> 概要: 世界のマイクロファイナンス機関に投資家の資金の一部が直接流れる仕組みを新たに構築した、マイクロファイナンス・ファンドについて、従来のエコファンドにはない新たなファンドの形という側面からお話をいただいた。	田中 秀一郎氏 (大和証券(株)投資信託部次長) モデレーター: 河口 真理子氏 ((株)大和総研 環境・CSR調査部長)	JICA地球ひろばセミナー ルーム	26	16/10	16	15
40	H23.11.22	<b>グリーンビルディングの胎動～動き始めた不動産版ESG投資～</b> 概要: 環境に配慮した不動産ともいえるグリーンビルディングかについて、グローバルな不動産投資家たちはどのようなスタンスでいるのか、今後の課題、キープレイヤーやドライバー等についてお話しいただいた。	平松 宏城氏 (CSRデザイン&ランドスケープ(株)代表取締役) コメンテーター: 河口 真理子氏 ((株)大和総研 環境・CSR調査部長)	JICA地球ひろばセミナー ルーム	25	11/14	27	13

回は設立以来の通算回数

<b>金融機関ダイアログ</b>								
7	H23.1.19	<b>社会的責任投資指数の持つ意義とは？ ～ FTSE4Goodの取り組み現場から</b> 概要: 政策委員として、内部からみたFTSE4Goodの活動状況、意義、考え方、成果、今後についてイベントを中心に、また参加者と責任投資指数の意義について意見交換をした。	荒井 勝氏 (大和証券投資信託委託(株)顧問)	(株)インテグ レックス 会議室	21	17/4	10	0
8	H23.4.19	<b>インパクトインベストメントの定義を考える</b> 概要: SIF-Japanでも従来の四半期毎の公募SRI投信残高に加え、社会貢献型債券の国内販売実績の案内を始めたのを機に、インパクトインベストメントのような新商品群をSRIの観点からどのように評価するのか、健全な市場発展のために今後何が求められるのか、件づ的な議論を展開した。	山本 聡氏 (大和証券(株)商品企画部企画課長) 河口 真理子氏 (SIFJ共同代表理事)	大和証券グ ループ本社 会議室	11	11/0	0	12
9	H23.5.25	<b>原子力の是非</b> 概要: 原子力の環境的・コスト的メリット及びリスクについて整理し、更にこれからの電力株投資について考える。通常の拡大版ということで、会員限定の枠を外し、マスにも招待して開催。	飯田 哲也氏(環境エネルギー政策研究所長) 澤上 篤人氏(さわかみ投信(株)代表取締役) 岸上 有沙氏(FTSE) 河口 真理子氏(SIFJ共同代表理事)	大和証券グ ループ本社	42	31/11	0	45

<b>早稲田大学大学院ファイナンス研究科への講師推薦協力</b>			
1	H23.4.9	SRI概論	河口真理子(株)大和総研 環境・CSR調査部長)
2	H23.4.16	CSRの評価(1)	秋山をね(株)インテグレックス 代表取締役)
3	H23.4.23	CSRの評価(2)	足達 英一郎(株)日本総合研究所ESGリサーチセンター長)
4	H23.5.7	CSRの実際 - 企業経営の観点から	小樽 雅章(向社会性研究所 主任研究員)
5	H23.5.14	CSR報告書と非財務情報開示	水口 剛(高崎経済大学教授)
6	H23.5.21	SRI運用の実際(1)	菊池 勝也(大和証券投資信託委託(株)エクイティ運用部)
7	H23.5.28	SRI運用の実際(2)	向畑 康志(住友信託銀行(株)株式運用部)
8	H23.6.4	CSRと企業パフォーマンスに関するケーススタディ	吉田 哲朗(株)しんきん信託銀行 主任ファンドマネージャー)
9	H23.6.11	グリーンビルディング投資	平松 宏城(CSRデザイン&ランドスケープ(株)代表取締役)
10	H23.6.18	マイクロファイナンス	廣瀬 大地(NPO法人フラネットファイナンスジャパン)
11	H23.6.25	年金運用におけるSRI - ESG投資とPRIの動向	宮井 博(日興フィナンシャル・インテリジェンス(株)専務取締役)
12	H23.7.2	SRIと投資信託のパフォーマンスに関する実証研究	亀井 茉莉(日本株アナリスト セクター担当)
13	H23.7.9	株主行動とSRI	鷹羽 美奈子(MSCI ESGリサーチ)
14	H23.7.16	企業のガバナンスとSRI	山崎 明美(日本シェアホルダーサービス株式会社チーフコンサルタント)

会場はすべて早稲田大学日本橋キャンパス

## 平成 23 年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成 23 年 12 月 31 日現在

## 特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム

科目・摘要	金額 (単位:円)		
資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金 (現金手許有高)	69,861		
普通預金 (三井住友銀行赤坂支店)	115,021		
普通預金 (三菱東京 UFJ 銀行赤坂見附支店)	3,231,299		
流動資産合計		3,416,181	
2 固定資産			
什器備品 (パソコン 3 台)	22,773		
固定資産合計		22,773	
資産合計			3,438,954
負債の部			
1 流動負債			
未払金 (事務所家賃 クレア)	300,000		
未払金 (印刷経費 クレア)	18,000		
預り金 (職員に対する源泉所得税)	14,520		
預り金 (報酬に対する源泉所得税)	16,307		
預り金 (職員に対する社会保険料)	32,882		
流動負債合計		381,709	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			381,709
正味財産			3,057,245



平成 23 年度 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成 23 年 12 月 31 日現在

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム

科 目	金 額 (単位：円)		科 目	金 額 (単位：円)	
資産の部			負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金	69,861		未払金	318,000	
普通預金	3,346,320		預り金	63,709	
流動資産合計		3,416,181	流動負債合計		381,709
2 固定資産			2 固定負債		
什器備品	22,773		固定負債合計		0
固定資産合計		22,773	負債合計		381,709
資産合計		3,438,954	正味財産の部		
			前期繰越正味財産	4,035,967	
			当期正味財産		
			増加額(減少額)	978,722	
			正味財産合計		3,057,245
			負債及び正味財産		
			合計		3,438,954

## 平成 23 年度 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成 23 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日まで

## 特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム

科 目	金 額 (単位:円)	
経常収入の部		
1 会費収入		
金融機関会費	1,250,000	
一般法人会費	850,000	
公的・中間機関会費	600,000	
NPO・NGO 会費	30,000	
個人会費	681,000	3,411,000
2 事業収入		
勉強会活動収入	106,500	
ホームページ運営活動収入	5,851	
SRI 普及・啓発活動収入	500,000	612,351
3 雑収入		
受取利息収入	594	594
経常収入合計		4,023,945
経常支出の部		
1 事業費		
勉強会活動費用	126,860	
ホームページ運営活動費用	51,500	
SRI 普及・啓発活動費用	380	
給料手当(事業)	2,028,000	2,206,740
2 管理費		
給料手当	1,092,000	
法定福利費	398,374	
会議費	2,543	
通信費	50,652	
旅費交通費	259,040	
消耗備品費	62,849	
印刷製本費	36,000	
地代家賃	600,000	
諸会費	6,000	
支払手数料	8,925	
業務委託費	252,000	2,768,383
経常支出合計		4,975,123
経常収支差額		951,178
その他資金収入の部		
1 その他資金収入	0	0
その他資金収入合計		0
その他資金支出の部		

1 その他資金支出	0	0	
その他資金支出合計			0
当期収支差額			951,178
前期繰越収支差額			3,985,650
次期繰越収支差額			3,034,472
(正味財産増減の部)			
正味財産増加の部			
1 資産増加額			
2 負債減少額		0	
増加額合計			0
正味財産減少の部			
1 資産減少額			
当期収支差額(再掲)		951,178	
什器備品減価償却額		27,544	
2 負債増加額		0	
減少額合計			978,722
当期正味財産増加額			978,722
前期繰越正味財産額			4,035,967
当期正味財産合計			3,057,245

当法人の会費収入は現金基準によっているため、当期の法人会費収入(金融機関会費収入、一般法人会費収入、公的・中間機関会費収入、NPO・NGO 会費収入)に計上された 2,730,000 円のうち 500,000 円は、翌期に係るものを当期に入金を受けたものです。なお、前期の法人会費収入に計上された 5,520,000 円のうちに、当期に係るものが 1,600,000 円ありました。

## 科目明細表

科 目	明 細	金 額	科 目 計
経常支出の部 1 事業費			
勉強会活動費用	諸謝金 通信費 旅費交通費 消耗備品費 交際費 会場費	111,110 2,920 4,090 705 4,035 4,000	126,860
ホームページ運営活動費用	サーバーレンタル費	51,500	51,500
SRI 普及・啓発活動費用	旅費交通費	380	380

## 平成23年度特定非営利活動に係る事業会計収支実績表

平成23年1月1日～平成23年12月31日

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム

(単位:円)

科目	細目	23年度予算額	同実績	実態	備考
経常収入の部					
1.会費収入		<b>4,660,000</b>	<b>3,411,000</b>	<b>4,511,000</b>	
正会員会費収入	金融機関会員(1口10万×1～5口/10会員)	2,550,000	1,250,000	2,250,000	
( )内は、期末在籍ベース	一般法人会員(1口10万×1～3口/4会員)	700,000	850,000	850,000	
	公的・中間機関会員(1口10万×1口/6会員)	600,000	600,000	700,000	
	NPO/NGO会員(1口1万×1口/3会員)	30,000	30,000	30,000	
	個人会員(1口1万×1口/83会員)	750,000	681,000	681,000	
	学生会員(1口5千×1口/9会員)	30,000	0	0	
2.事業収入		<b>550,000</b>	<b>612,351</b>	<b>612,351</b>	
	勉強会・金融機関ダイアログ	150,000	106,500		
	シンポジウム	100,000	0		
	レポートコンテスト	300,000	400,000		SRIレポートコンテスト協賛金
	SRI普及・啓発活動収入		100,000		SRI年報2011協賛金
	ホームページ運営収入		5,851		
3.雑収入		<b>1,000</b>	<b>594</b>	<b>594</b>	
	受取利息、雑収入	1,000	594		
経常収入合計(A)		<b>5,211,000</b>	<b>4,023,945</b>	<b>5,123,945</b>	
経常支出の部					
1.事業費		<b>2,820,000</b>	<b>2,202,540</b>	<b>2,202,540</b>	
SRI研究	勉強会・金融機関ダイアログ活動	240,000	126,860		
情報開示促進	シンポジウム実施費用	50,000	0		
	レポートコンテスト活動	200,000	380		
コミュニケーション促進	その他イベント活動	150,000	0		
提言・情報提供・教育啓発等	ホームページ運営	52,000	47,300		
	メールマガジン運営	50,000	0		
	SRI年報2011の準備	50,000	0		
	給料手当(事業)	2,028,000	2,028,000		常勤者1名・非常勤者1名の給料の65%
2.管理費		<b>2,862,000</b>	<b>2,772,583</b>	<b>2,772,583</b>	
事務局運営費	給料手当	1,092,000	1,092,000		常勤者1名・非常勤者1名の給料の35%
	法定福利費	420,000	398,374		
	旅費交通費	250,000	259,040		
	地代家賃	600,000	600,000		
	支払手数料・業務委託費	300,000	260,925		会計事務所
	通信・印刷・備品等	200,000	162,244		
経常支出合計(B)		<b>5,682,000</b>	<b>4,975,123</b>	<b>4,975,123</b>	
当期収支差額(A)-(B)		471,000	951,178	148,822	
前期繰越収支差額		3,985,650	3,985,650	3,034,472	
次期繰越収支差額		<b>3,514,650</b>	<b>3,034,472</b>	<b>3,183,294</b>	

収入について現金主義で会計処理をしているため、23年度分の会費収入が一部、22年度決算に含まれている。  
本来の収入・支出の期間対応が明確にするため、3行目に「実態」の収支実績の数値を記載した。

平成 24 年 2 月 10 日

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人 社会的責任投資フォーラム  
理 事 会 御 中

監事 阿部 和彦



監事 菅生 直美



私たちは、特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム（以下、同法人という）の平成 23 年 1 月 1 日から同年 12 月 31 日に係る会計及び業務について監査を行い、以下のとおり報告する。

1. 財産目録及び収支計算書は、会計帳簿と一致し、同法人の財政状態及び収支の状況を重要な点において、正しく示しているものと認める。
2. 事業報告書の記載内容は、重要な点において、真実を示しているものと認める。
3. 理事の職務執行に関する不正事項及び法令・定款に反する重要な事項は認められなかった。

以上

## 第9期 事業計画・予算書（案）

自 平成 24 年 1 月 1 日  
至 平成 24 年 12 月 31 日

特定非営利活動法人  
社会的責任投資フォーラム

平成24年度 年間事業計画(案)

平成24年1月1日～平成24年12月31日

定款第5条に基づく次の特定非営利活動に係る事業を実施する。

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム

事業区分	事業名	具体的な内容	運営管理	実施予定時期・回数	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(単位:円)
連携による活動強化	FTSEとの共同調査	FTSEと共同で年金基金へのヒアリングを行いレポートを発行する。	運営委員事務局	通年	東京都	3～5名	海外のSRI関係者	50,000
	海外との連携を深める	PRIとの連携事業を検討する。 イギリスSIFと連携し、欧州での情報発信を検討する。 TBLI等の会合で海外のSRI関係者が来日する機会があれば、それに合わせてSIF主催のイベント開催を検討する。	運営委員事務局	通年	-	2～5名	海外のSRI関係者	50,000
	各種制度設計への関与	年金基金への働きかけ強化。 連合や環境省が策定しているSRI促進のための制度設計に対して情報発信(パブリックコメント等)を行う。	運営委員事務局	通年	東京都	2～5名	制度設計を行っている各種団体・省庁など	50,000
勉強会・金融機関ダイアログ運営	定例勉強会の開催	SRIに関心のある会員・非会員を対象に、情報交換・意見交換を行なう。毎回、実務家を中心にSRIへの造詣の深い講師を招き参加者のSRIに関する知識を高め、交流の場とする。 【講演内容(予定)】 ・SRI入門(毎春開催/代表理事の水口教授) ・SRIファンドの運用 ・CSR担当者によるCSR活動の取り組み	運営委員事務局	2,3月に1度	東京都	5名	SRI関係者及び興味を持つ不特定多数の人	150,000
	金融機関ダイアログの開催	法人会員のSRI関係者(一部個人会員も含む)を対象としたクローズドな会とする。 昨今話題となっている第一線で活躍されている専門家を交えて、議論の場を設けることを通じて、 ・金融機関と専門家とのダイアログの推進 ・SRI関係者からのコメントの共有 ・金融機関同士のネットワーク作りを図り、より実質的なSRI普及活動に寄与する。あわせて会員獲得を図る。	運営委員事務局	2,3月に1度	東京都	5名	SRI関係者及び金融機関	
シンポジウム運営	シンポジウムの開催	・「SRI年報・2011」のお披露目。執筆者によるプレゼンテーション。 ・平成23年に実施の「SRIレポートコンテスト」優秀賞の受賞者によるプレゼンテーション。	運営委員事務局	年1回	東京都	約10名	SRI関係者及び興味を持つ不特定多数の人	100,000
SRI年報の作成	2011年版・年報の発行	1年おきに発行している「日本SRI年報」の2011年度版の編集・印刷・配布を行う。	運営委員事務局	通年	東京都	約10名	SRI関係者または関心を持つ不特定多数の人	600,000
ホームページ運営	ホームページの運営・管理	・日本におけるSRIの概要、最新情報等について幅広く多くの人々に中立的な立場から情報を提供する。 ・SIF-J関係者による推薦図書を紹介。 ・会員専用ページで勉強会のレジュメをダウンロード配布。 ・SRI投信・SRI債券のデータ更新(3, 6, 9, 12月末)。	事務局	通年	東京都	2名	地域非限定、不特定多数	50,000
メールマガジン運営	月刊メールマガジンの発行	・SRIに関するあらゆる情報を無料で頒布することで、SRIに関心を持つ方の裾野を広げ、持続的な情報提供を行う。 ・SIF-Japanの活動のお知らせ、オピニオンリーダーによるSRIに関する雑感、SRIに関する文献情報、関連イベント情報、SIF-Japanの活動報告などをメールによって無料で広く発信する。	事務局	月1回	東京都	2～3名	地域非限定、不特定多数	0
小計								1,050,000
各事業推進に係る給料手当て								2,028,000
合計								3,078,000



**平成24年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書案**  
平成24年1月1日～平成24年12月31日

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム  
(単位:円)

科目	細目	23年度予算額	同実績	24年度予算額	備考
経常収入の部					
1.会費収入		<b>4,660,000</b>	<b>3,411,000</b>	<b>3,610,000</b>	
正会員会費収入	金融機関会員(1口10万×1～5口/10会員)	2,550,000	1,250,000	1,800,000	
( )内は、期末在籍ベース	一般法人会員(1口10万×1～3口/4会員)	700,000	850,000	550,000	
	公的・中間機関会員(1口10万×1口/6会員)	600,000	600,000	600,000	
	NPO/NGO会員(1口1万×1口/3会員)	30,000	30,000	30,000	
	個人会員(1口1万×1口/83会員)	750,000	681,000	630,000	
	学生会員(1口5千×1口/9会員)	30,000	0	0	
2.事業収入		<b>550,000</b>	<b>612,351</b>	<b>605,000</b>	
	勉強会・金融機関ダイアログ	150,000	106,500	150,000	
	シンポジウム	100,000	0	100,000	SRI年報2011の発表
	レポートコンテスト	300,000	400,000		
	SRI普及・啓発活動収入		100,000	350,000	SRI年報2011の協賛金・販売
	ホームページ運営収入		5,851	5,000	
3.雑収入		<b>1,000</b>	<b>594</b>	<b>500</b>	
	受取利息、雑収入	1,000	594	500	
<b>経常収入合計(A)</b>		<b>5,211,000</b>	<b>4,023,945</b>	<b>4,215,500</b>	
経常支出の部					
1.事業費		<b>2,820,000</b>	<b>2,202,540</b>	<b>3,078,000</b>	
	勉強会・金融機関ダイアログの実施費用	240,000	126,860	150,000	
	シンポジウムの実施費用	50,000	0	100,000	
	レポートコンテストの活動必要	200,000	380	0	平成24年度にシンポジウム実施
	SRI年報2011の発行費用	50,000	0	600,000	SRI年報2011の印刷表等
	コミュニケーション促進のための活動費	150,000	0	150,000	
	ホームページ運営	52,000	47,300	50,000	
	メールマガジン運営	50,000	0	0	
事業管理運営費	給料手当(事業)	2,028,000	2,028,000	2,028,000	常勤者1名・非常勤者1名の給料の65%
2.管理費		<b>2,862,000</b>	<b>2,772,583</b>	<b>2,792,000</b>	
事務局運営費	給料手当	1,092,000	1,092,000	1,092,000	常勤者1名・非常勤者1名の給料の35%
	法定福利費	420,000	398,374	400,000	
	旅費交通費	250,000	259,040	250,000	
	地代家賃	600,000	600,000	600,000	
	支払手数料・業務委託費	300,000	260,925	250,000	会計事務所
	通信・印刷・備品等	200,000	162,244	200,000	
<b>経常支出合計(B)</b>		<b>5,682,000</b>	<b>4,975,123</b>	<b>5,870,000</b>	
当期収支差額(A)-(B)		471,000	951,178	1,654,500	
前期繰越収支差額		3,985,650	3,985,650	3,034,472	
次期繰越収支差額		<b>3,514,650</b>	<b>3,034,472</b>	<b>1,379,972</b>	

特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム  
理事・監事候補者名簿

候補（任期：平成24年4月1日～平成25年3月31日）

役職	氏名（各50音順・敬称略）	備考 個人が所属する組織は会員とは限りません。	報酬	備考
理事・会長	荒井 勝	FTSE4Good 政策委員会メンバー	無	新
理事	松下 浩一	株式会社大和証券グループ本社	無	新

但し、松下氏は植原氏の後任として、残任期間を引き継ぐものである。

辞任

役職	氏名（敬称略）	備考	報酬	備考
理事	植原 恵子	株式会社大和証券ビジネスセンター		異動

現理事・監事名簿

参考（任期：平成23年4月1日～平成25年3月31日）

現在の役職	氏名（各50音順・敬称略）	備考 個人が所属する組織は会員とは限りません。	報酬	備考
理事	青木 修三	モルガン・スタンレーMUF G	無	
代表理事	秋山 をね	株式会社インテグレックス	無	
理事	足達 英一郎	株式会社日本総合研究所	無	
理事	稲岡 稔	株式会社セブン&アイ・ホールディングス	無	
代表理事	河口 真理子	株式会社大和証券グループ本社	無	
理事	木内 孝	NPO法人フューチャー500	無	
理事	後藤 敏彦	環境監査研究会	無	H24年3月より最高顧問
理事	首藤 恵	早稲田大学大学院	無	
理事	藺田 綾子	株式会社クレアン	無	
理事	菱田 賀夫	住友信託銀行株式会社	無	
理事	菱山 隆二	NGO企業行動研究センター	無	
理事	前田 正尚	株式会社日本政策投資銀行	無	
代表理事	水口 剛	高崎経済大学	無	
理事	宮城 治男	NPO法人エティック	無	
監事	阿部 和彦	株式会社あらたサステナビリティ認証機構	無	
監事	菅生 直美	KPMGあずさサステナビリティ株式会社	無	

**特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム  
運営委員候補一覧**

(敬称略・50音順)

平成24年4月1日～平成26年3月31日

	氏 名	所 属	
1	荒井 勝	F T S E 4 G o o d 政策委員会メンバー	新
2	内田 宏樹	株式会社クレアン	再
3	大竹 大	株式会社アイフィスジャパン	再
4	かとう 正法	内閣府認証NPO法人エコキャップ推進協会理事	再
5	亀井 茉莉	日興アセットマネジメント株式会社	再
6	河口 真理子	株式会社大和総研	再
7	岸上 有沙	F T S E G r o u p	新
8	小樽 雅章	向社会性研究所	再
9	新谷 大輔	株式会社三井物産戦略研究所	再
10	相馬 直子	住友信託銀行株式会社(平成24年4月1日より三井住友信託銀行)	再
11	鷹羽 美奈子	M S C I	再
12	平松 宏城	C S R デザイン&ランドスケープ株式会社	再
13	福吉 隆行	株式会社日本政策投資銀行	再
14	物江 陽子	株式会社大和総研	再
15	山崎 明美	日本シェアホルダーサービス株式会社 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社より出向)	再
16	山本 利明	大阪電気通信大学	再
17	吉田 哲朗	株式会社しんきん信託銀行	再

以上17名

は24年度新たに選出された委員